

## ガジュマル (クワ科 イチジク属)

### ガジュマルとは

東南アジアから日本南部（沖縄、屋久島、南西諸島）に生息している、高さ20m以上にもなる高木です。木の本体から沢山の気根を伸ばし土の中に入り込み、その樹形はとて変わった姿をしています。別名、多幸の樹と呼ばれ、幸福をもたらす精霊が住む木とされています。独特の姿で人気のある観葉植物です。冬越しには5℃程度の気温が必要です。やや肉厚で光沢のある葉が美しい。ゴムノキの仲間です。難易度(そだてやすい)耐寒性(ややよわい:5℃以上)



### 日当たり・置き場所

日光を好む植物です。春～秋は戸外やベランダのよく日の当たる場所に置いてがっしりした丈夫な株にしましょう。日当たりが悪いと枝が間延びして葉色やツヤが悪くなります。

#### ○4月中旬から10月下旬

室内、室外の日当たりのよい場所に置きますが、明るい日陰でも育ちます。日に当てた方が引き締まった姿になるので、たまに日光浴させた方がよいです。

#### ○11月から4月上旬

室内の日当たりのよい所か、できるだけ明るい所。秋の最低気温が13度を下回ったら室内に入れ、耐寒温度は0度以上と寒さには強いですが、余裕をもって最低温度5度以上で管理すれば葉もあまり落とさずに冬を越えてくれます。最低温度は5度以上で管理。

### 育て方

#### ○水やり

春～秋は、土の表面が乾いてきたらたっぷりと水を与えましょう。同時に空気中の湿度を上げるために霧吹きなどで葉にもたっぷりと水をかけます。水切れを起こすと下の方の葉っぱが枯れてきます。秋は水やりの回数を減らして、乾かし気味に管理します。冬は表面が乾いてから2、3日しての水やりにして乾燥気味に管理します。冬に水をやりすぎて根腐れさせてしまうことがあるので気を付けましょう。

#### ○用土

水はけと水もちのよい土が適しています。赤玉土7：腐葉土3の割合で混ぜた土を使います。市販の観葉植物用の土を使ってもよいでしょう

#### ○肥料

春～秋の生育期間中、2ヶ月に1回ゆっくり効くタイプの化成肥料や観葉植物用の錠剤タイプの肥料を与えます。肥料はたくさん与えると枝葉が伸びすぎて乱れてしまうので、さほどたくさんいりません。また、冬は根を傷めてしまうので肥料は与えません。

#### ○季節・日常の手入れ

樹形全体を見ながら枝の切り戻しを行います。切り戻しをすることで、枝数が増えてバランスよく茂った姿に仕立てることができます。勢いの強い枝は放っておくと突出して全体のバランスを崩してしまうので付け根から切り取ります。その他の枝はバランスを見ながら1/3～2/3の長さに切り戻します。短めに切り戻しても大丈夫です。作業の適期は5～6月です。